



# 形S8VK-WA (2000W) スイッチングパワーサプライ

JPN

## 取扱説明書

この度は、S8VK-WAをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書では、S8VK-WAを使用する上で、必要な機能、性能、  
使用方法などの情報を記載しております。  
S8VK-WAをご使用に際して以下のことを守ってください。  
・S8VK-WAは電気の知識を有する専門家が扱ってください。  
・この取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、正しく  
ご使用ください。  
この取扱説明書はいつでも参照できるよう大切に保管してください。

**オムロン株式会社**  
©All Rights Reserved

## 安全上の注意

## ●警告表示の意味

<b>△ 警告</b>	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり万一の場合には重傷や死に至る恐れがあります。また、同様に重大な物的損害をもたらす恐れがあります。
<b>△ 注意</b>	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

## ●警告表示

**△ 警告**

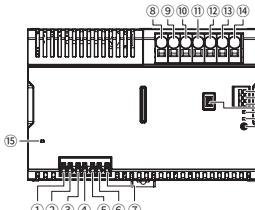
・製品故障時に発火、感電の危険性がありますので、推奨サーキットブレーカまたはヒューズを必ず使用してください。(詳細は、この取扱説明書の「推奨サーキットブレーカ、ヒューズ」を参照してください。)	
電線が抜け感電の恐れがあります。 端子台に接続するときは、電線の先端が端子台に突き当たるまでまっすぐ挿入してください。	

**△ 注意**

・軽度の感電、発火、機器の故障が稀に起こる恐れがあります。分解、改造、修理したり、内部に触らないでください。	
・軽度の火傷が稀に起こる恐れがあります。通電中や電源を切った直後は製品本体に触らないでください。	
・感電により軽度の傷害が稀に起こる恐れがあります。通電中は端子に触らないでください。通電時、本体内部には最大384Vの電圧が発生しています。電源OFF後も30秒間この電圧が残留します。	
・軽度の感電、発火、機器の故障が稀に起こる恐れがあります。製品の中に金属、導線または、取り付け加工中の切削などが入らないようにしてください。	
・サーキットブレーカがトリップ、またはヒューズが溶断した場合、装置に深刻な故障が発生した可能性があります。力を再投入しないでください。	

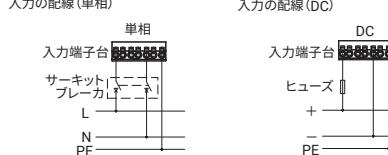
## 各部の名称および配電方式

## ●各部の名称

形 S8VK-WA20224-SPI  
形 S8VK-WA20248-SPI

## ●配電方式

・入力の接続は、下図に従ってください。

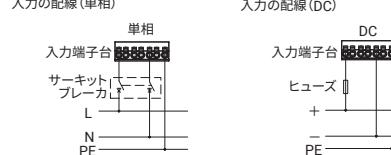


## ●各部の名称

- ①,②入力端子 (L/+) ヒューズは (L/+) 側に挿入されています。
- ③,④ノーマルシグニオ端子 (NC)
- ⑤,⑥入力端子 (N/−)
- ⑦ PE (保護接地) 端子 (⑯)
- (安全規格で定められた PE (保護接地) 端子のため、アースが完全に接続してください。)
- ⑧,⑨,⑩ 直流出力端子 (+V)
- ⑪,⑫,⑬,⑯ 直流出力端子 (-V)
- INPUT OK 表示灯 (INPUT OK: 緑)
- Iout>100% 表示灯 (Iout>100%: 黄)
- DC OK 表示灯 (DC OK: 緑)
- 出力電圧調整トリマ (V.ADJ)
- Iout>100% 信号出力端子
- DC OK 信号出力端子
- COM 端子
- 並列運転用スイッチ (OPERATION)

## ●配電方式

・入力の接続は、下図に従ってください。



OMRON

## 安全上の要点

## ●設置・保管環境について

- ・周囲温度 -40 ~ +85°C、相対湿度 95% 以下で保管してください。
- ・取り付けにあたっては、機器の長期信頼性を向上させるために、放熱に十分留意してください。自然対流式ですので、製品周囲の空気が対流するように取り付けてください。

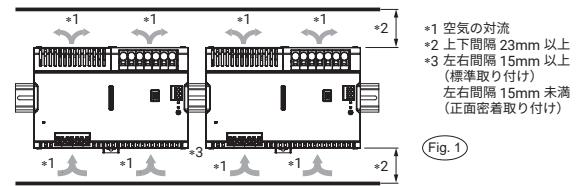


Fig. 1

- ・左側間隔 15mm 未満時は、標準取り付け時とはディレーティング曲線が異なります。
- ・内部部品の劣化・破損が稀に起こる恐れがありますので、取り付けごとのディレーティング曲線の範囲を超える状態では使用しないでください。
- ・相対湿度が 95% 以下の場所で使用してください。
- ・直射日光の当たる場所では使用しないでください。
- ・製品内に液体や異物、腐食性ガスがある可能のある場所では使用しないでください。
- ・振動・衝撃の激しい場所では使用しないでください。特にコンタクタなど振動源となる部品や装置から離して設置してください。
- ・強い高周波ノイズやサージを発生する機器からは離して取り付けてください。
- ・放熱性の悪化により稀に内部部品が劣化・破損する恐れがあります。製品本体のねじを緩めないでください。

## ●推奨サーキットブレーカ、ヒューズ

- ・製品故障時に発火・感電の危険性がありますので、推奨サーキットブレーカまたはヒューズを必ず使用してください。
- ・安全規格の適合と装置の安全性確保のため、下表の推奨サーキットブレーカまたはヒューズを介して、製品に入力を接続してください。
- ・入力の接続は、配電方式の図に従ってください。
- ・サーキットブレーカまたはヒューズの交換作業は、教育を受けた人または熟練者が担当してください。

形式	入力	推奨品 (製品1台につき)
単相	サーキットブレーカ : AC240V以上 30~40A B、C特性 ヒューズ : 速断型 DC390V以上 30A	
DC	ヒューズ : 速断型 DC390V以上 30A	

- 注: 游り線により複数台使用するときは、入力電流と突入電流を考慮し、サーキットブレーカまたはヒューズを必ず使用してください。
- 推奨サーキットブレーカ、ヒューズより前段にブレーカを設置するときは、推奨サーキットブレーカ、ヒューズと同時にまたねにトリッピングしないよう、定格・遮断特性にご注意ください。

## ●設置・配線について

- ・アースは完全に接続してください。安全規格で定められた PE (保護接地) 端子のため、アースが不完全な場合、感電や誤動作の恐れがあります。
- ・難度の発火が万一の場合起こる恐れがあります。入出力端子など誤配線のないように注意してください。
- ・難度の発火が万一の場合起こる恐れがあります。製品交換時は必ず設備の電圧を確認し、それに適合した製品を使用してください。
- ・配線材の発煙・発火を防ぐために、電線の定格を確認の上、下表の線材を使用してください。

## 推奨電線

端子	形式	推奨電線	
		(mm <sup>2</sup> )	(AWG)
入力	形S8VK-WA202□-SPI	2.5	14
出力	形S8VK-WA202□-SPI*	6~16	10~6
信号出力/COM	形S8VK-WA202□-SPI	0.25~2.5	24~14
PE (保護接地)	形S8VK-WA202□-SPI	2~2.5	14

- 注: 線材は銅製で、より線が単線を使用してください。

ただし形 S8VK-WA202□-SPI の出力端子は、単線は使用できません。

60°C以上、または 60/75°C以上の耐熱電線を使用してください。

- \*1 以下のいずれかの定格を超える電流が流れる場合は、必ず複数の端子および電線を同時に使用してください。
- 定格電流 (出力端子) 1 端子あたり 45A
- 電線の定格電流 (出力側) AWG6: 65A、AWG8: 50A、AWG10: 35A

## 被覆剥きしろ

推奨電線	フェルール端子 導体長さ	推奨被覆剥きしろ	
		フェルール端子使用時	フェルール端子未使用時
0.25~1.5mm <sup>2</sup> /AWG24~16	8mm	10mm	8mm
	10mm	12mm	8mm
2~2.5mm <sup>2</sup> /AWG14	10mm	12mm	10mm
6mm <sup>2</sup> /AWG10	18mm	21mm	18mm
8~10mm <sup>2</sup> /AWG8	18mm	21mm	18mm
14~16mm <sup>2</sup> /AWG6	100mm	120mm	100mm

- 注: 線材は銅製で、より線が単線を使用してください。

ただし形 S8VK-WA202□-SPI の出力端子は、単線は使用できません。

60°C以上、または 60/75°C以上の耐熱電線を使用してください。

- \*1 以下のいずれかの定格を超える電流が流れる場合は、必ず複数の端子および電線を同時に使用してください。
- 定格電流 (出力端子) 1 端子あたり 45A
- 電線の定格電流 (出力側) AWG6: 65A、AWG8: 50A、AWG10: 35A

## ●並列運転について

並列運転時は「PARALLEL」側にしてください。

SINGLE : 定格出力電流の 100% を使用可能

PARALLEL : 定格出力電流により出力電流を 80% に制限

## ●出力しない場合

過電流保護または、過電圧保護が機能している可能性があります。

また、入力に雷サージなどの大きなサージ電圧が印加された場合は、内部保護回路が機能している可能性も考えられます。

以下 2 点を確認後も出力電圧が出ない場合は、当社までお問い合わせください。

・過電流保護の確認方法

負荷が過電流状態 (短絡含む) にならないいかを (負荷線をはずして) 確認してください。

いたずらに電源を OFF し、3 分以上放置後、電源を再投入してください。

・過電圧保護、内部保護の確認方法

いたずらに電源を OFF し、3 分以上放置後、電源を再投入してください。

## ●EU および UK 指令への適合について

EMC 指令に適合するための使用条件については、カタログ、この取扱説明書を参照してください。

## ●廃棄について

廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。

## ●プッシュイン Plus 端子台への接続

・庄着棒端子 (以降フェルール端子) 付き電線、単線の接続方法

端子台に接続するときは、単線またはフェルール端子の先端が端子台に突き当たるまでまっすぐ挿入してください。

細かい接続は接続しにくい場合は、より線の接続方法同様にマイナスドライバを使用してください。

## ・より線の接続方法

端子台に接続するときは、以下の手順により行ってください。

1. マイナスドライバを斜めにし、リリースホールに押し込んでください。

押し込み角度は、10°~15°が適切です。マイナスドライバを正しく押し込むと、リリースホール内のバネの反発を感じます。

2. リリースホールにマイナスドライバを押し込んだ状態で、電線の先端が端子台に突き当たるまでまっすぐ挿入してください。

3. マイナスドライバをリリースホールから抜いてください。

## ●lout&gt;100% 表示灯・信号出力

出力電流が定格出力電流を超えるときに表示灯が点灯、製品内部の MOS FET リレーが導通 (ON) します。

## ●信号出力端子の仕様

(DC) 信号出力端子と COM 端子間、lout&gt;100% 信号出力端子と COM 端子間)

30VDC max、50mA max、ON 時残留電圧 2V 以下、OFF 時漏れ電流 0.1mA 以下

注:

- ・信号出力は内部に電流制限回路を備えていませんので、信号出力端子に流れる電流が 50mA を超えないよう注意してください。
- ・配線後は正常に動作することを確認してください。

## ●詳細はカタログを参照してください。

## 使用上の注意

## ●取り付けについて

・取り付けについては、Fig.1 を参照してください。DIN レールについては、カタログを参照してください。

## ●入力電圧について

定格:

AC 入力時 定格範囲: AC200 ~ 240V (単相)

・AC 入力の許容範囲: -15% ~ +10% (AC170 ~ 264V)

DC 入力時 定格範囲: DC240 ~ 384V

DC280V 未満は、1.0%/V のディレーティングをかけて負荷を軽減してください。

DC 入力時 定格範囲: DC240 ~ 384V

DC280V 未満は、1.0%/V のディレーティングをかけて負荷を軽減してください。&lt;/div